



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ZOA

コード番号 3375 URL <http://www.zoa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 伊井 一史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 安井 明宏

TEL 055-922-1975

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期第2四半期 | 3,743 | △6.9 | 86 | 13.0 | 89 | 13.2 | 60 | 27.6 |
| 28年3月期第2四半期 | 4,022 | △21.8 | 76 | 109.4 | 78 | 107.2 | 47 | 125.8 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期第2四半期 | 29.71 | — |
| 28年3月期第2四半期 | 22.69 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|-------|---|-------|---|--------|---|----------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期第2四半期 | 4,250 | | 2,000 | | 47.1 | | 1,103.57 | |
| 28年3月期 | 5,108 | | 2,196 | | 43.0 | | 1,054.25 | |

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 2,000百万円 28年3月期 2,196百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 28年3月期 | — | 0.00 | — | 30.00 | 30.00 |
| 29年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 29年3月期(予想) | — | — | — | 35.00 | 35.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年 3月期の業績予想(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|------|-----|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 8,500 | 1.7 | 232 | 9.8 | 235 | 10.1 | 145 | 11.0 | 75.71 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 29年3月期2Q | 2,296,500 株 | 28年3月期 | 2,296,500 株 |
| 29年3月期2Q | 483,500 株 | 28年3月期 | 213,500 株 |
| 29年3月期2Q | 2,029,885 株 | 28年3月期2Q | 2,083,000 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| 第2四半期累計期間 | 5 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用環境は底堅いものの個人消費については伸び悩み、景気の回復には停滞感がみられ、為替相場においても不安定な状況が続きました。

パソコン業界においては、電子情報技術産業協会(JEITA)の発表によると、当第2四半期累計期間のパソコン国内出荷台数、出荷金額ともに前年同期比1.0%の減少となり、パソコン市場においては底打ち感が出てきました。

バイク業界においては、日本自動車工業会(JAMA)の統計によると、当第2四半期累計期間の二輪車累計国内出荷台数は前年同期比18.0%の減少となっており、バイク市場においては低迷状態が続いております。

このような状況下で当社は、パソコン事業においては、収益の増加が続いているサポートサービスの推進にさらに注力しております。従来のサポートメニューだけでは伝わりにくかったサービス内容をわかりやすく伝えるため、説明用の動画を作成して店頭で流すことで訴求の強化を図っております。これによりお客様に視覚的にご理解いただくことで、より多くのサポートサービスの受付件数を伸ばすことができいております。また、一部店舗ではデジタルサイネージを設置し、サポートサービスの告知はもちろん、特価情報なども効果的に情報発信することで認知向上を図っております。

また、主力のパソコン本体の販売については、販売台数の減少が続いております。しかし、高単価なゲーミングPCの販売が好調で、平均単価は前年同期比36.8%の増加となっております。専門店として差別化が図れる分野であるため、今後もゲーミングPCの販売強化を推進するとともに、サポートサービスを絡めたライトユーザーの囲い込みを行うことで、販売台数の増加にも取り組んでまいります。

店舗展開としては、老朽化が進んでいたOAナガシマ志太店を9月末に、より交通量の多く好立地な場所にある新築店舗へと移転しました。9月30日よりプレオープンを行いました。朝からたくさんのお客様にご来店いただき、好スタートを切っております。本格始動する今後は、旧店舗を上回る売上高が期待されます。

しかし、周辺機器の単価下落やゲーミングPCの販売増加に伴う組み立てパソコンの販売不振をカバーするには至らず、パソコン事業全体の売上高は前年同期比4.2%の減少となりました。

バイク事業においては、不稼働在庫の削減と商品入れ替えの過渡期であり、売上高は低迷しました。しかし、各店舗において商品の入れ替え・改装が完了し、リニューアルオープンを10月以降に順次進めてまいります。また、メーカーとの協業による売り場の刷新も実施し、今後はよりコアなライダーの囲い込みができると考えております。バイク事業全体の売上高は前年同期比14.6%の減少となりました。

インターネット通信販売事業においては、タブレットやモバイルPCの販売が好調でした。また、主力のノートPCについては、収益性が高く価格競争になりにくいビジネスモデルやオリジナルモデルの販売に注力することで売上高は減少しましたが収益性は向上し、利益面においては大幅な改善が図られました。インターネット通信販売事業の売上高は前年同期比14.9%の減少となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績については、売上高3,743,365千円(前年同期比6.9%減)、経常利益89,172千円(前年同期比13.2%増)、四半期純利益60,300千円(前年同期比27.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて857,783千円減少し、4,250,902千円となりました。その主たる要因は、現金及び預金が759,923千円、売掛金が133,437千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債については、前事業年度末に比べて662,543千円減少し、2,250,134千円となりました。その主たる要因は、買掛金が367,760千円、未払法人税等が32,830千円、長期借入金が490,007千円、社債が30,000千円それぞれ減少し、短期借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産については、前事業年度末に比べて195,239千円減少し、2,000,767千円となりました。この結果、当第2四半期会計期間末における自己資本比率は47.1%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績予想に関しましては、平成28年5月13日付「平成28年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて公表いたしました業績予想から差異が生じたため、「業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ」を本日公表しております。なお、通期の業績予想につきましては、変更ございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位 : 千円)

| | 前事業年度 (平成28年 3 月 31 日) | 当第 2 四半期会計期間 (平成28年 9 月 30 日) |
|---------------|---------------------------|----------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1, 193, 561 | 433, 638 |
| 売掛金 | 338, 861 | 205, 424 |
| 商品 | 2, 212, 990 | 2, 154, 573 |
| その他 | 111, 488 | 82, 222 |
| 貸倒引当金 | △470 | △841 |
| 流動資産合計 | 3, 856, 431 | 2, 875, 017 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 718, 343 | 718, 343 |
| その他 (純額) | 223, 978 | 281, 846 |
| 有形固定資産合計 | 942, 321 | 1, 000, 189 |
| 無形固定資産 | 13, 193 | 15, 345 |
| 投資その他の資産 | 296, 739 | 360, 350 |
| 固定資産合計 | 1, 252, 254 | 1, 375, 885 |
| 資産合計 | 5, 108, 686 | 4, 250, 902 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1, 167, 199 | 799, 439 |
| 短期借入金 | 50, 000 | 300, 000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 823, 407 | 413, 418 |
| 1年内償還予定の社債 | 60, 000 | 60, 000 |
| 未払法人税等 | 71, 169 | 38, 339 |
| 賞与引当金 | 36, 886 | 35, 440 |
| ポイント引当金 | 13, 613 | 15, 820 |
| その他 | 106, 349 | 112, 508 |
| 流動負債合計 | 2, 328, 624 | 1, 774, 965 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 140, 000 | 110, 000 |
| 長期借入金 | 346, 563 | 266, 545 |
| 長期未払金 | 4, 949 | 4, 949 |
| 退職給付引当金 | 92, 541 | 93, 674 |
| 固定負債合計 | 584, 053 | 475, 168 |
| 負債合計 | 2, 912, 678 | 2, 250, 134 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 331, 986 | 331, 986 |
| 資本剰余金 | 323, 753 | 323, 753 |
| 利益剰余金 | 1, 687, 255 | 1, 685, 065 |
| 自己株式 | △146, 987 | △340, 037 |
| 株主資本合計 | 2, 196, 007 | 2, 000, 767 |
| 純資産合計 | 2, 196, 007 | 2, 000, 767 |
| 負債純資産合計 | 5, 108, 686 | 4, 250, 902 |

(2) 四半期損益計算書
(第 2 四半期累計期間)

(単位 : 千円)

| | 前第 2 四半期累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月 30 日) | 当第 2 四半期累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月 30 日) |
|------------|---|---|
| 売上高 | 4,022,746 | 3,743,365 |
| 売上原価 | 3,163,047 | 2,863,457 |
| 売上総利益 | 859,698 | 879,907 |
| 販売費及び一般管理費 | 782,906 | 793,098 |
| 営業利益 | 76,792 | 86,809 |
| 営業外収益 | | |
| 受取手数料 | 7,786 | 5,220 |
| 受取保険金 | — | 147 |
| その他 | 317 | 1,787 |
| 営業外収益合計 | 8,103 | 7,156 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 5,956 | 4,085 |
| その他 | 197 | 707 |
| 営業外費用合計 | 6,154 | 4,793 |
| 経常利益 | 78,741 | 89,172 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 2,389 |
| 特別利益合計 | — | 2,389 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 4,850 | — |
| 固定資産除却損 | — | 644 |
| 特別損失合計 | 4,850 | 644 |
| 税引前四半期純利益 | 73,890 | 90,917 |
| 法人税等 | 26,627 | 30,617 |
| 四半期純利益 | 47,263 | 60,300 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年8月25日開催の取締役会決議に基づき、自己株式270,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期累計期間において自己株式が193,050千円増加し、当第2四半期会計期間末において自己株式が340,037千円となっております。